

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年3月6日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|--------------------------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名 | 与那国町役場 | 代表者名 | 糸数 健一 | | |
| 担当者部署 | 企画財政課 | 連絡先電話番号 | 0980-87-3577 | | |
| 担当者役職 | 主査 | 担当者氏名 | 津村 伸之 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 907-1801 沖縄県与那国町八重山郡与那国町 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 岡田 良 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 次の派遣予定日（3月1日）に実施していただく、庁内職員向けDXセミナーの内容についての打ち合わせを行った。今後のDX推進については、数名のデジタル化推進委員が必須となるが、職員の中にはDXやデジタルという言葉にアレルギーをもつ者も少なくない。アドバイザーからの提案では、日常業務で使用しているPCや生活に不可欠なスマホなどについて” 案外理解していない操作方法や知識” を通じて、動機づけをすることが重要であるとあり、その方向で進めることとした。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 次回実施のDXセミナーでは職員の意識喚起につながる内容としてほしい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
|-------------|---------------|--------------------|--------------|-----------|----------|
| | 令和5年2月28日 | 支援・助言(実地) | 有 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和5年3月1日 | 講演（実地） | 14時30分 | 17時30分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 180 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 与那国町役場 | 最寄駅 | 与那国町役場 | |
| | 所在地 | 沖縄県八重山郡与那国町字与那国129 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 7人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 過年度、庁内職員向けに情報リテラシーや個人情報保護に関する研修会を実施してきたが、政府が押し進めようとする「DX（ICT活用による経済活動や社会生活の変容）」といったワードに対しての知識がなく、具体的な推進イメージに乏しい。実際にどのようなもので、町にとって取り組む必要性があるのか等の基本的な知識がほとんどない。職員間のリテラシー格差がある中で、デジタル化を進めることで市民サービスの向上や町内企業の活性化がどのように図られるかを認識することが課題となっている。 | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | 地域全体のDX化を進めていくために、まずは職員の意識向上と庁内体制の確立を進めることが肝要となる。デジタル化に対する取り組みの重要性を認識するための研修を通して、近い将来のDX推進に向けた方向性と成就のための実施計画の検討を行う。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | DXアレルギーを持つ職員が少なくない中で、各部署の業務の違いや年齢の違いがある職員に対し、誰もが親しみかつ理解しやすい内容のセミナーを実施していただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | セミナーのタイトルを「パソコン・インターネット知識講座」とし、一部を「知って得する、いまさら聞けないパソコンの知識講座」とし、一部を「受けあきらめかかっていない、インターネットの仕組み」とし、 | |

| | | |
|---|---|---|
| (具体的にご記入下さい) | 「新しいITツールの知識講座」、一部を「実はめんどくさいけど、インターネットのはじめ」にして、日常業務に密接にかかわる内容ながらも、ワンランク上の知識を習得することで、モチベーションの向上につながったようだ。また講義のなかにDXにつながる内容も入れ込んでもらったことで、職員の意識喚起にもつながったと感じている。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた 職員の意識喚起の方法や人材育成の手法を示唆いただいたことで、今後の取組みの方向性が明らかになった。 |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 今般はアドバイザー派遣により、DXに関わる意識喚起のきっかけとなったが、デジタル人材育成のためには、町として予算化し、継続的に実施する必要性を感じている。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 親しみやすい内容としたことで、業務や年齢、リテラシーレベルがまちまちな職員に対しても好評であった。一番の成果は、今後も実施してほしいとの要望が出たことである。(PDFを添付します)。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | 人材育成の実施とDX推進計画のイメージを作成し、令和5年度の具体的実施につなげます。 | |

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

3-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



DXセミナー風景

